

当院の倫理委員会で承認された治療法

当院の倫理委員会にて、下記の治療法が承認されました。対象者となられる方から同意をいただくことに代えて、病院ホームページにて情報を公開することにより投薬を実施しております。なお、本件について同意できない場合、診療において不利益を被ることはありません。この内容に関して拒否される場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

実施内容	手術後悪心嘔吐予防を目的としたドロペリドールの硬膜外投与
概要	【目的・意義】 手術後の悪心嘔吐（Postoperative Nausea and Vomiting: PONV）は、患者の QOL を著しく低下させる一般的な合併症です。ドロペリドールは PONV に対して有効な薬剤として知られています。ドロペリドールの硬膜外投与は適応外使用となりますが、その有効性が複数の論文で報告されており、日本麻酔科学会のガイドラインにも記載がある投与方法であり、PONV を効果的に抑えられると考えられます。 【想定される不利益と対策】 硬膜外投与により、静脈内投与よりも少量で、震えなどの錐体外路症状が生じる可能性があります。本剤はまれに重篤な不整脈につながる可能性も報告されています。国内で承認されていない使用方法であるため、予期せぬ副作用や効果が現れる可能性があります。また医薬品副作用被害救済制度の対象外となります。対策として、可能な限り最小投与量で実施します。
お問い合わせ先	当院麻酔科 代表 0996-67-1611